

## 令和4年度 第2学年次 第4回 RAP応用A ワークシート①

### 【振り返り】

#### (1)探究とは

答えがあるかどうかははっきりしない( )に対して、それを調べるところから始まる…

#### (2)疑問文を作るには・・・

- ①自分の( )と組み合わせる
- ②様々な( )と組み合わせる
- ③( )や( )を限定する
- ④キーワードを( )して考える

→様々な方法で疑問文を作ることができる。



### 【ワーク①】

疑問文を作るのが難しい場合には「5W1Hの視点」で考えてみよう！

#### ①「何？( )」の疑問文

→知識や情報を求める問いになります。まずキーワードについて「～とは何か？」という疑問文を作ってみることから始めてみよう！その意味や背景を調べることは自分の探究を始める第一歩になります。

#### ②「どこ？( )」の疑問文

→場所や範囲を特定する問いです。「どこで起こっているのか？」「どこから来たのか？」「どこを目指しているのか？」「どの位置にいるのか」などを求めています。

#### ③「いつ？( )」の疑問文

→時間や時期に関する問いです。「いつやったのか？」「いつ始まったのか？」「どのくらい時間がかかったのか？」などを求めています。

#### ④「誰？( )」の疑問文

→人に関する問いです。「誰か？」「誰に？」「誰から？」「誰を？」などを求めています。

#### ⑤「なぜ？( )」の疑問文

→理由や原因を求める問いです。「なぜそうしたのか？」「なぜ失敗したのか？」「なぜそうするのか？」など、原因・理由・目的を求めています。

#### ⑥「どのように？( )」の疑問文

→方法や仕組みを求める問いです。「どのように進んでいる？」「どのように行われているか？」「どうすればよいか？」などを求めています。

### なぜ問いを小さな問いに分解するかというと・・・

#### 1. 作業をどうやって進めればいいのかを考えやすくなる

いきなり問いに答えようとする、どこから手を付けて良いかわからなくなります。そこで、問いを小さく分けると答えが見つかりそうなものから順番に手を付ければよいので作業に取りかかりやすくなります。

#### 2. 自分が本当に知りたいものがはっきりする

いったん選んだ問いをさらに小さな問いに分解してみると、自分が本当に追求してみたい問いがはっきりしてくるかもしれません。